報告事項

鳥栖市転入者アンケートの実施について

平成30年2月15日 鳥栖市企画政策部総合政策課 まち・ひと・しごと創生推進室

鳥栖市転入者アンケート

1 目的

本市の総人口は、転入超過による社会増によって増加を続けているが、本市への転入理由については、転入者の年代など統計上の数値から類推している状況に留まっている。そのため、転入者に転入理由などを直接質問するアンケートを行うことで、本市における社会動態の背景をより具体的に把握し、調査結果を蓄積していくことによって、本市の社会動態における強みや弱みの明確化を図り、さらなる定住人口獲得に向けた政策形成に繋げていくことを目的とする。

2 実施内容

次のような役割分担のもと、継続的にアンケート調査を実施する。

(1) 市民課

転入者が住民異動届を提出する際に、転入者アンケート(別紙)を渡して協力を依頼する。転入者には異動処理の待ち時間中にアンケートに回答いただき、回収ボックスにアンケート用紙を投函する。

(2) 総合政策課

アンケート用紙を回収し回答内容の集計を行う。集計結果については、鳥栖市まち・ひと・しごと創生本部会議、鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議等において公表し、"鳥栖発"創生総合戦略の推進および定住人口獲得施策を検討していく上での基礎データとする。

3 実施状況

- (1) 平成 29年11月1日より開始
- (2) 回答件数 166件(11月1日~12月28日の38日/1日あたり平均4.4件の回答)
- (3) 1日当たり転入届出件数 平均 10.9 件

平成 28 年	転入届出件数	開庁日(平日のみ)	1日あたり転入届出件数
4月	404	20	20.2
5月	224	19	11.8
6月	174	22	7.9
7月	198	20	9.9
8月	185	22	8.4
9月	182	20	9.1
10 月	226	20	11.3
11月	158	20	7.9
12 月	135	19	7.1
1月	134	19	7.1
2月	160	20	8.0
3 月	475	22	21.6
合計	2,655	243	10.9

、者アンケートにご協力ください

鳥栖市にお住まいいただきありがとうございます。鳥栖市では転入される方にアンケートを行い、今後の人口 増加施策に役立てたいと考えています。いただいた回答は統計的に処理し、市の移住推進の取組以外では使用 いたしません。アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

問1.世帯主の方の性別	問	1.	世帯主の方の性別
-------------	---	----	----------

1. 男 2. 女

問2. 世帯主の方の年齢

鳥栖市イメージキャラクター・とっとちゃん

1.10代

2.20代

3.30代

4.40代

5.50代

6.60代以上

問3. 家族構成

1. 一人世帯 ➡ 問5へ 2. 夫婦のみ ➡ 問5へ 3. 夫婦と子ども

4. 三世代同居

5. その他(

問4.世帯内のお子さまの人数(カッコ内に人数をお書きください)

1. 未就学児()人 2. 小学牛 (

)人 3. 中学牛(

4. 高校生

)人

5.18歳以上(

)

)人

問5. 転入前のご住所はどちらですか?

都道府県名(

都 道) 府 県)

市区町村名(

【記入例】福岡市中央区、久留米市

問6. 勤務地または通学先はどちらですか?

1. 鳥栖市内

2. 鳥栖市外 ➡ 市区町村名(

【記入例】福岡市博多区、筑紫野市

問7. 転入された一番の理由は何ですか? (最も近いものを1つ選んでください)

1. 転勤

2. 就職・転職

3. 結婚

4. 進学

12.その他(

5. 住宅の購入

子どもの都合
 条件の良い物件への住み替え

8. 親と同居するため

9. Uターン 10. その他(

問8. 鳥栖市を選んだ理由は何ですか? (あてはまるものすべて選んでください)

1. 通勤・通学が便利

2. 仕事・通学の都合上

3. 住環境が良い

4. 気に入った物件があった 5. まちのイメージが良い 6. 買い物が便利

7. 子育て環境が良い

8. 教育環境が良い

9. まちに将来性がある

10. サガン鳥栖が好き

11. 地縁や血縁

問9. 鳥栖市以外に転居先の候補地はありましたか?

- 問10. 鳥栖市では移住の取組を推進しています。<u>移住者インタビューなどの</u> 取材を「受けてもよい」と思われる方は、ご連絡先をお教えください。

	TOSU CITY
山田裕子さん(10代,物生が正 8/年)	
移住時期 2008年 勤整地 福裕市 家族構成 夫・長女・次女	
仕事と子育て、いいタイミングでした	
鳥栖市へ移り住まれたきっかけを教えてください	
機場が視節市内のため、社会人になってからは細菌市内に	-
住み、結婚を機に13年ほど前から佐賀市に住んでいました。8	
年前、主人が告報市と島栖市を行き来するような仕事をして	
いて、ちょうど島栖市での仕事の比重が大きくなってきたと	
きでした。そんな時に、知り合いに現在の住居を紹介しても	
らった縁もあり、鳥栖に移り住むことになりました。長女を妊	and A V
嫌していた時でした。	
結婚して佐賀市に住んでいたころは、高速パスで毎日片道2	-
時間ほどかけて適動していました。夫婦二人の頃は、それで何	N. Carlotte
とかやっていけていたのですが、「子どもができたら今の仕事	
を続けるのは飢煙だろうな」と感じていました。	
そんなときに、馬栖市に住むことになったため、すごくいい タイミングだったなと思います。	ろではなかったため車で運動していましたが、渋滞します
タイミングだつだなど思います。	特に南の日などは1時間近くかかることもありました。職場 前僚にも適能研修も変わらないから「鼻痛がいいよ」と勧め
一福間市内への運動はいかがですか?	回想にも透影地間も変わらないから(易祉かいいよ」と初め います(物)。
一種国金もんの運動はたいかからまから	V-K 9 (30)
排多駅まで快速で25分で、自宅から順場まで1時間以内で通	
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	ノンストレスで「ちょうどいい後
	ノンストレスで「ちょうどいい」街
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	ノンストレスで「ちょうどいい」街 一実際に暮らしてみて、悪じる真格の魅力は
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	実際に暮らしてみて、感じる真柄の魅力は私にとって「ノンストレスな街」だなと感じました。通動・
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	実際に暮らしてみて、感じる真柄の魅力は私にとって「ノンストレスな街」だなと感じました。通動・
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一実際に暮らしてみて、原じる条格の魅力は 私にとって「ノンストレスな板」だなと感じました。通動・ 育て環境・迅速環点と、すべてがちょうどいか」。むしろ、東 れた環境が逐漸です。
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一支際に暮らしてみて、産じる高格の魅力は 私にとって「ノンストレスな班」だなと感じました。通動 育で環境・生活重要と、すべてながちょうだいい」、むしろ、車 れた環境は一般です。 大型機は無難です。
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一度際に暮らしてみて、悪じる高額の能力は 私にとって「ノンストレスを力けなど施じました。運動 育て機嫌・迅速増え、すべてが「ちょうどいい」。むしろ、悪 れた環境に関して音で他化のカが多いため、子どもは友だ あれに実現して音で他化のカが多いため、子どもは友だ あれて実現を立て、で楽しやすべて全企業も及むで、子学で、
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一楽顔に暮らしてみて、雨じる高橋の魅力は 私にとって「ノンストレスな街」だなと感じました。選動・ 育て臨場・生活臨場と、すべてがちょうどいかり、むしろ、恵 が用には即じま。 近所には即じまで、まかりすく安全地も必な、・子ぞく も多く、小学校も近くて添かっすく安全地も必な、・子ぞく はすごくいい。現場になりたと思います。たび瀬田に対しる様々
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一度際に暮らしてみて、悪じる高額の能力は 私にとって「ノンストレスを力けなど施じました。運動 育て機嫌・迅速増え、すべてが「ちょうどいい」。むしろ、悪 れた環境に関して音で他化のカが多いため、子どもは友だ あれに実現して音で他化のカが多いため、子どもは友だ あれて実現を立て、で楽しやすべて全企業も及むで、子学で、
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一風歌に暮らしてかて、感じる良格の他力は 私にとってブノンストレスを助けなと感じました。透動 すて無いる返還来と、すべてがちょうといい。たしる。 地に最いな趣じと。 近年におして子が生かりが多りた。一名とはなど ますこといい。他ので、ことがよりない。 はすこといい。他ので、たいまり、までは、 かりで、ちょっと、というない。 あいので、ちょっと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一面単に着らしてもて、直じる無能の能力は 組にカッドノンストレスの最小性なと指しました。遺動 する機・は空間をよってくがからようとかいったした。最 かには同じますで、世代のカゲラシンストラーともは反び も多く、小学を込むて、第一や「ア な会性を及びで、予定し はすこくい、場所には同じてを必ず、まない。 多くので、もっとして、というで、まない。 一条を一つの単位がよりである。 一条を一つの単位がよりであります。 一条性から一般を検討されているカールー 一条性から一般を検討されているカールー
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一風歌に暮らしてかて、感じる良格の他力は 私にとってブノンストレスを助けなと感じました。透動 すて無いる返還来と、すべてがちょうといい。たしる。 地に最いな趣じと。 近年におして子が生かりが多りた。一名とはなど ますこといい。他ので、ことがよりない。 はすこといい。他ので、たいまり、までは、 かりで、ちょっと、というない。 あいので、ちょっと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと、こと
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一規則は暮らてもて、他じる最初的動力は 私にとってインストレスを助用なる他じました。提動 する機能を組織をし、インスが与ったなかい。たした。他 大型がは同様では、中では、からなかい。たした。他 大型がは同様では、中では、からなからない。チャで はまっていい。現状のとしまっまった。他のまった。チャで は、まっていた。日本のは、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中で
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一規則は基もしてもて、他じる最初的動力は 私にとってレンストレスが単元だった。通動 育て無性・経過機と、サイズが与えないり、こしろ、他 大心を継続機能で、 は他には、現代をは、一般になった。 はかには、現代をは、では、からくない。 はかには、現代をは、では、からくない。 はっていい。現代と、知らり、では他的もかの、デギで はっていい。現代と、知らり、またでは、他のでは、 多いで、ちょっとし、たりは他的もな様でが立め、 ティー・実施をいます。 実施し、またで、 実施をいます。 実施をいます。 、またで、生またで、 、またで 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、
動できています。通勤時間は以前の平分以下になりました。	一個取び扱うしてもて、間じる場所が設け 私にタイプシストルスの銀行をご用いていた。 取ります「シストルスの銀行とご用いていた。 まで開いる場面をディイプリカックルントした。 を 一般には同じ手でできたのが多からか、子ぞくは反対 も多くの等を見てては、地方の少多かとのフェダで はっていい場所がしまします。までは、他のである かった。カンスにはの場合が場所が出かった。 メール機能のの場合がである。 メール機能のの場合がである。 メール機能のの場合がである。 メール機能のの場合がである。 メール機能のの場合がでいるかの メイケーダを影響します。 ※20のかたいしょうをも多のじしてするのも無常の、

お名前			
ご住所	鳥栖市		
お電話番号	()	_

ご記入いただいた個人情報は、厳重に管理し鳥栖市への移住推進に関する業務 以外に使用いたしません。

鳥栖市ウェルカムガイド「移住者インタビュー」

ご協力ありがとうございました。

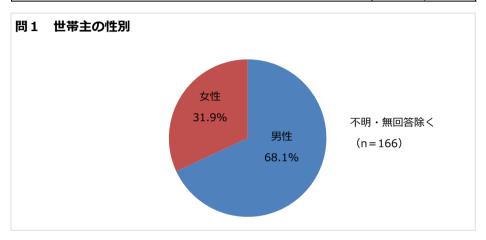


平成29年度 鳥栖市転入者アンケート〔H29.11.1~H29.12.28〕

【アンケート結果】 回答者数 166件

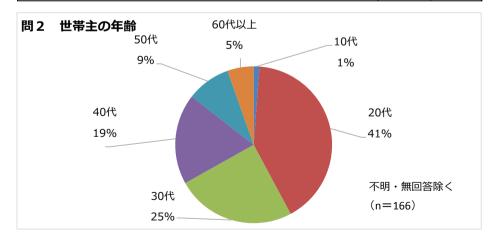
問1.世帯主の性別

		回答数	比率
1	男性	113	68.1%
2	女性	53	31.9%
а	有効回答者数(人)	166	
b	不明・無回答(人)	0	
	回答者数(人) a + b	166	



問2.世帯主の年齢

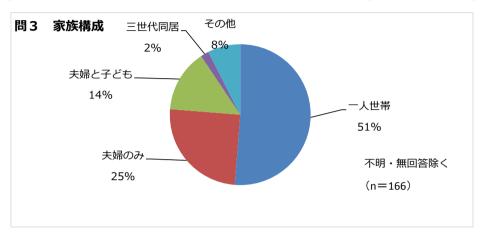
		回答数	比率
1	10代	2	1.2%
2	20代	68	41.0%
3	30代	41	24.7%
4	40代	31	18.7%
5	50代	15	9.0%
6	60代以上	9	5.4%
a	有効回答者数(人)	166	
b	不明・無回答(人)	0	
	回答者数(人) a + b	166	



若年世代は、就職、転職、結婚、出産、住宅取得などライフイベントが多いため当然の結果ではあるが、20代、30代だけで全体の7割近くを占めている。

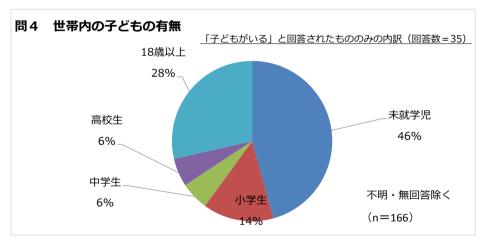
問3.家族構成

		回答数	比率
1	一人世帯	82	51.3%
2	夫婦のみ	40	25.0%
3	夫婦と子ども	23	14.4%
4	三世代同居	3	1.9%
5	その他	12	7.5%
а	有効回答者数(人)	160	
b	不明・無回答(人)	6	
	回答者数(人) a + b	166	



問4.世帯内の子どもの有無

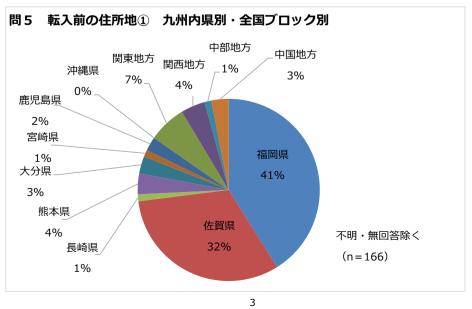
		回答数	比率
1	未就学児	16	7.4%
2	小学生	5	2.3%
3	中学生	2	0.9%
4	高校生	2	0.9%
5	18歳以上	10	4.6%
6	子供なし	185	85.3%
а	有効回答者数(人)	217	
b	不明・無回答(人)	4	
	回答者数(人) a + b	221	



「家族構成」については、世帯当たり人数が減少を続けていることを裏付けるように、一人世帯だけで半数以上を占めている。「世帯内の子どもの有無」については、子どもがいる世帯の場合は未就学児や小学生などの低年齢層の子どもの割合が高く、子どもの年齢と居住地変更の間には一定の関連性があると考えられる。

問5.転入前の住所地①(都道府県)

1		.4人的少年/7名(中庭的末/	回答数	比率
2 青森県	1	北海道		
3 音手県	2			
4 宮城県 0 0.0% 5 秋田県 0 0.0% 6 山形県 0 0.0% 7 福島県 0 0.0% 8 茨城県 0 0.0% 9 栃木県 1 0.6% 10 群馬県 0 0.0% 12 干葉県 1 0.6% 13 東京都 2 1.2% 15 新潟県 0 0.0% 16 富山県 1 0.6% 17 石川県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 19 山梨県 0 0.0% 20 長野県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 透現県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 26 京都県 1 0.6% 31 鳥取県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 兵庫県 0 0.0% 34 広島県 1 0.6% 35 山川県 0 0.0% 36 徳県 0 0.0% 37 香島県県 1 0.6% 38 桜県 1 0.6% 39 高規県 1 0.6% 30 都	3		_	
5 秋田県 0 0,0% 6 山形県 0 0,0% 7 福島県 0 0,0% 8 茨城県 0 0,0% 9 栃木県 1 0,6% 10 群馬県 0 0,0% 11 埼玉県 5 3,0% 12 干葉県 1 0,6% 13 東京都 2 1,2% 14 神奈川県 2 1,2% 15 新潟県 0 0,0% 16 富山県 1 0,6% 17 石川県 0 0,0% 18 福井県 0 0,0% 19 山梨県 0 0,0% 20 長野県 0 0,0% 21 岐阜県 0 0,0% 22 静岡県 0 0,0% 22 華県 0 0,0% 22 華県 0 0,0% 22 大阪府 0 0,0% 27 大阪府 2 1,2% 29 奈良県 1 0,6% 20 長根県 0 0,0% 21 馬取県 0 0,0% 22 奈良県 1 0,6% 23 西県県 0 0,0% 24 三重県 0 0,0% 25 滋賀県 0 0,0% 26 徳県県 1 0,6% 27 大阪府	4		-	
6 山形県				
7 福島県	6			
8 茨城県 0 0.0% 10 群馬県 0 0.0% 11 埼玉県 5 3.0% 12 千葉県 1 0.6% 13 東京都 2 1.2% 14 神奈川県 2 1.2% 16 富山県 0 0.0% 16 高山県 1 0.6% 17 石川県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 19 山梨県 0 0.0% 20 長野県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静剛県 0 0.0% 23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0%<			-	
9 栃木県 1 0.6% 10 群馬県 0 0.0% 11 埼玉県 5 3.0% 12 干菓県 1 0.6% 13 東京都 2 1.2% 14 神奈川県 2 1.2% 15 新潟県 0 0.0% 16 富山県 1 0.6% 18 福井県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 19 山梨県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 24 三重県 0 0.0% 25 法資県 0 0.0% 27 大阪府 0 0.0% 28 長耳県 1 0.6% 28 長耳県 1 0.6% 28 長耳県 1 0.6% 28 長耳県 0 0.0% 28 長耳県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 高取県 1 0.6% 31 高取県 0 0.0% 34 広島県 1 0.6% 33 商川県 0 0.0% 34 広島県 1 0.6% 35 山口県 0 0.0% 36 徳川県 0 0.0% 37 高町県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 38 長耳県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 長耳県 0 0.0%				
10	9		-	
11 埼玉県				
12 千葉県 1 0.6% 13 東京都 2 1.2% 14 神奈川県 2 1.2% 15 新潟県 0 0.0% 16 富山県 1 0.6% 17 石川県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 19 山梨県 0 0.0% 20 長野県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 23 菱如県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 島取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 藤根県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福島県 0 0.0% 40 福島県 0 0.0% 41 佐倉県 5 3.0% 42 長崎県 2 1.2%				
13 東京都				0.6%
14 神奈川県				
15 新潟県				
16 富山県 1 0.6% 17 石川県 0 0.0% 18 福井県 0 0.0% 19 山梨県 0 0.0% 20 長野県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 1 0.6% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0%<				0.0%
17 石川県		富山追	-	
18 福井県 0 0.0% 19 山梨県 0 0.0% 20 長野県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 0 0.0% 41 佐賀県 5 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0%				
19 山梨県		は、一点は、一点は、一点は、一点は、一点は、一点は、一点は、一点は、一点は、一点		0.0%
20 長野県 0 0.0% 21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 44 大分県 5 3.0% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 47 下非無原 0 0.0% 48 本外 0 0.0%				
21 岐阜県 0 0.0% 22 静岡県 0 0.0% 23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 0 0.0% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 44 大分県 5 3.0% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 46 鹿児島県 1 0.0%			_	
22 静岡県 0 0.0% 23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 1 0.6% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 52 31.5% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 6 3.6% 47 沖縄県 6 3.6% 48 海外 0 0.0%			-	
23 愛知県 1 0.6% 24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td>0.0%</td></td<>				0.0%
24 三重県 0 0.0% 25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 2 1.2% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0%			_	
25 滋賀県 0 0.0% 26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 4 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	24	二重旦		0.0%
26 京都府 0 0.0% 27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 2 1.2% 46 鹿児島県 2 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>				
27 大阪府 2 1.2% 28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 4 2.4% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0			-	
28 兵庫県 4 2.4% 29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 4 2.4% 0 0				
29 奈良県 1 0.6% 30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1		丘庫里		
30 和歌山県 0 0.0% 31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% 46 東別県 0 0.0% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0			- 1	0.6%
31 鳥取県 0 0.0% 32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 44 大分県 5 3.0% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1				
32 島根県 1 0.6% 33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	31		_	
33 岡山県 0 0.0% 34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	32		-	
34 広島県 4 2.4% 35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	33			
35 山口県 0 0.0% 36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数 (人) 165 b 不明・無回答(人) 1	34	広島県		
36 徳島県 0 0.0% 37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	35		0	0.0%
37 香川県 0 0.0% 38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	36		0	
38 愛媛県 1 0.6% 39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	37		0	
39 高知県 0 0.0% 40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	38	愛媛県		
40 福岡県 67 40.6% 41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	39			
41 佐賀県 52 31.5% 42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	40		_	
42 長崎県 2 1.2% 43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	41	佐賀県		
43 熊本県 6 3.6% 44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	42			
44 大分県 5 3.0% 45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	43			
45 宮崎県 2 1.2% 46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	44			3.0%
46 鹿児島県 4 2.4% 47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	45		2	
47 沖縄県 0 0.0% 48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	46			2.4%
48 海外 0 0.0% a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	47		0	0.0%
a 有効回答者数(人) 165 b 不明・無回答(人) 1	48		0	
b 不明・無回答(人) 1	a			
	b			
		· 回答者数(人) a + b	166	



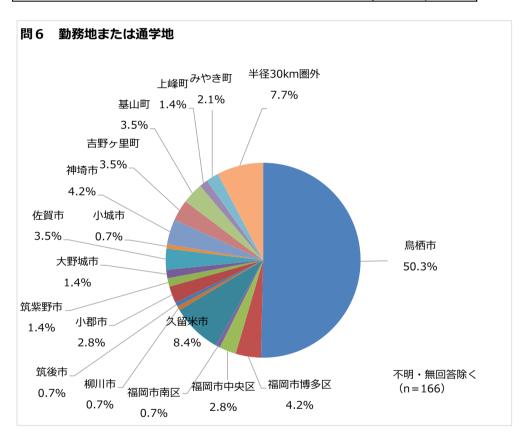
問5.転入前の住所地②(市区町村)

	福岡県(半径30km圏内の市区町)+県内市町	回答数	比率
1	福岡市博多区	6	3.7%
2	福岡市中央区	4	2.4%
3	福岡市南区	3	1.8%
4	福岡市西区	1	0.6%
5	福岡市城南区	1	0.6%
6	福岡市	3	1.8%
7	久留米市	20	12.2%
8	筑後市	1	0.6%
9	大川市	1	0.6%
10	小郡市	3	1.8%
11	筑紫野市	3	1.8%
12	春日市	1	0.6%
13	大野城市	1	0.6%
14	太宰府市	4	2.4%
15	うきは市	2	1.2%
16	みやま市	1	0.6%
17	那珂川町	1	0.6%
18	筑前町	1	0.6%
19	大刀洗町	1	0.6%
20	大木町	2	1.2%
21	佐賀市	16	9.8%
22	唐津市	1	0.6%
23	多久市	1	0.6%
24	伊万里市	2	1.2%
25	小城市	4	2.4%
26	嬉野市	2	1.2%
27	神埼市	5	3.0%
28	吉野ヶ里町	3	1.8%
29	基山町	9	5.5%
30	みやき町	5	3.0%
31	半径30km圏外	56	34.1%
а	有効回答者数(人)	164	
b	不明・無回答(人)	2	
	回答者数(人) a + b	166	

転入前の住所地を市区町村別に見ると、福岡県の市区町と鳥栖市から半径30Km圏内の町村で全体の「65.9%」を占めており、そのうち福岡県の市区町村が「36.6%」、佐賀県側が「29.3%」となっており、鳥栖市人口ビジョンにもあるように近隣市区町村からの転入が多い状況が継続している。

問6.勤務地または通学先

	福岡県(半径30km圏内の市区町)+県内市町	回答数	比率
1	鳥栖市	72	50.3%
2	福岡市博多区	6	4.2%
3	福岡市中央区	4	2.8%
4	福岡市南区	1	0.7%
5	久留米市	12	8.4%
6	柳川市	1	0.7%
7	筑後市	1	0.7%
8	小郡市	4	2.8%
9	筑紫野市	2	1.4%
10	大野城市	2	1.4%
11	佐賀市	5	3.5%
12	小城市	1	0.7%
13	神埼市	6	4.2%
14	吉野ヶ里町	5	3.5%
15	基山町	5	3.5%
16	上峰町	2	1.4%
17	みやき町	3	2.1%
18	半径30km圏外	11	7.7%
а	有効回答者数(人)	143	
b	不明・無回答(人)	23	
	回答者数(人) a + b	166	



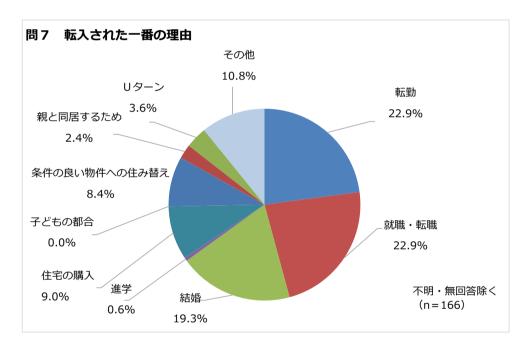
勤務地または通学地としては、鳥栖市内が半数を占めている。次いで、半径30Km圏内の福岡県の市区町が「23.1%」、佐賀県の市町は「18.9%」となっており、本市の福岡県との経済的な結びつきの強さを裏付ける結果となっている。

問7.転入された一番の理由

		回答数	比率
1	転勤	38	22.9%
2	就職・転職	38	22.9%
3	結婚	32	19.3%
4	進学	1	0.6%
5	住宅の購入	15	9.0%
6	子どもの都合	0	0.0%
7	条件の良い物件への住み替え	14	8.4%
8	親と同居するため	4	2.4%
9	Uターン	6	3.6%
10	その他	18	10.8%
а	有効回答者数(人)	166	
b	不明・無回答(人)	0	
	回答者数(人) a + b	166	•

問7-②.「その他」の主な内容一覧

1	離婚
2	家族の必要のため
3	ペット可物件があった
4	独立
5	親の介護施設入所に伴う引越し
6	引越し
7	商売



転勤、就職・転職など、仕事に関することが転入理由の「45.8%」を占めている。次いで、結婚、住宅の購入と続いており、市内に雇用の場があることが転入者獲得につながっているものと考えられる。

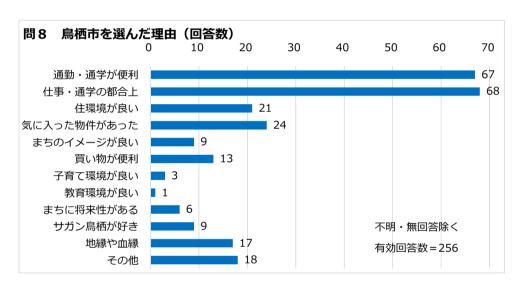
問8.鳥栖市を選んだ理由は何ですか? (複数回答可)

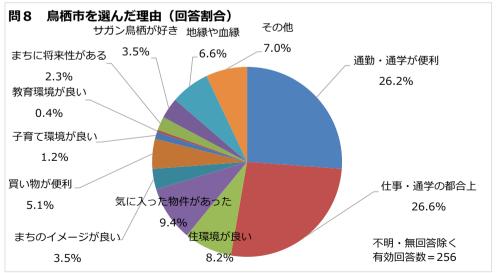
		回答数	比率
1	通勤・通学が便利	67	26.2%
2	仕事・通学の都合上	68	26.6%
3	住環境が良い	21	8.2%
4	気に入った物件があった	24	9.4%
5	まちのイメージが良い	9	3.5%
6	買い物が便利	13	5.1%
7	子育て環境が良い	3	1.2%
8	教育環境が良い	1	0.4%
9	まちに将来性がある	6	2.3%
10	サガン鳥栖が好き	9	3.5%
11	地縁や血縁	17	6.6%
12	その他	18	7.0%
а	有効回答数(件)	256	
b	不明・無回答(人)	6	
回答者数(人) a + b + c			

[※]比率は有効回答数に占める割合

問8-②.「その他」の主な内容一覧

1	知人と同居

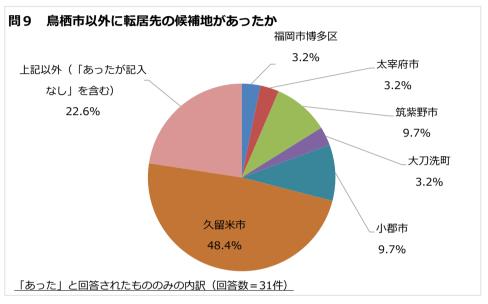




鳥栖市を選んだ理由は、「通勤・通学が便利」、「仕事・通学の都合上」が圧倒的に多く、 日々の通勤時の利便性や職住接近の住環境などが居住地選択時に重要視されていることが分か る。

問9.鳥栖市以外に転居先の候補地があったか

		回答数	比率
1	なかった	91	74.6%
2	福岡市博多区	1	0.8%
3	太宰府市	1	0.8%
4	筑紫野市	3	2.5%
5	大刀洗町	1	0.8%
6	小郡市	3	2.5%
7	久留米市	15	12.3%
8	上記以外(「あったが記入なし」を含む)	7	5.7%
а	有効回答者数(人)	122	
b	不明・無回答(人)	44	
回答者数(人) a + b		166	



ほとんどが本市以外に転居先の候補地はなかったと回答されているが、候補地があった場合に は、佐賀県内ではなく久留米市を中心とした福岡県側の近隣市が候補地となっている。